

平成28年度
「市民の社会貢献に関する実態調査」
の結果について

平成29年3月

平成28年度 市民の社会貢献に関する実態調査

1 調査の目的

調査の目的: 本調査は、市民の寄附・ボランティア活動の実態を明らかにし、共助社会づくり及び社会貢献に関する施策のための基礎資料を得ることを目的として実施する。

2 調査方法

【市民調査】

調査対象: 全国に居住する満20～69歳までの男女 9,000人

調査方法: 郵送調査とオンライン調査の併用

調査期間: 平成28年9月15日(木)～10月31日(月)(47日間)

回収率: 41.8% (3,766人)

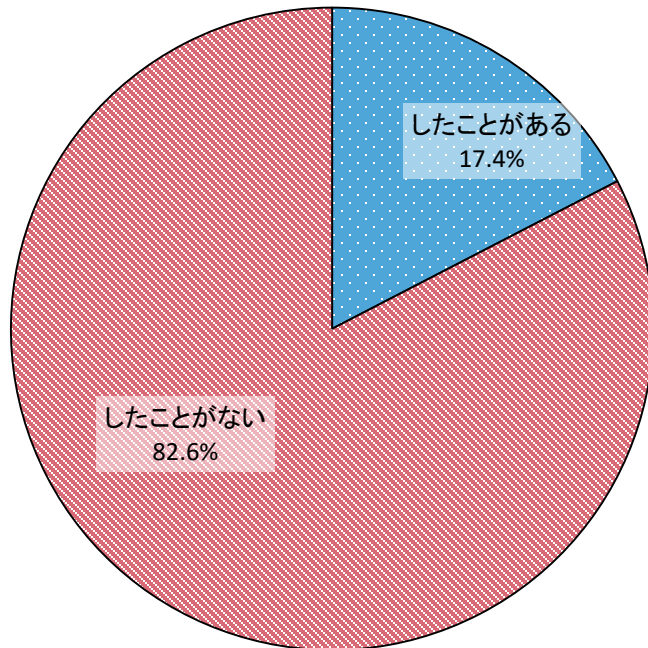
調査実施機関: 株式会社インテージリサーチ

ボランティアについて①

- 平成27年にボランティア活動をしたことがある人は17.4%

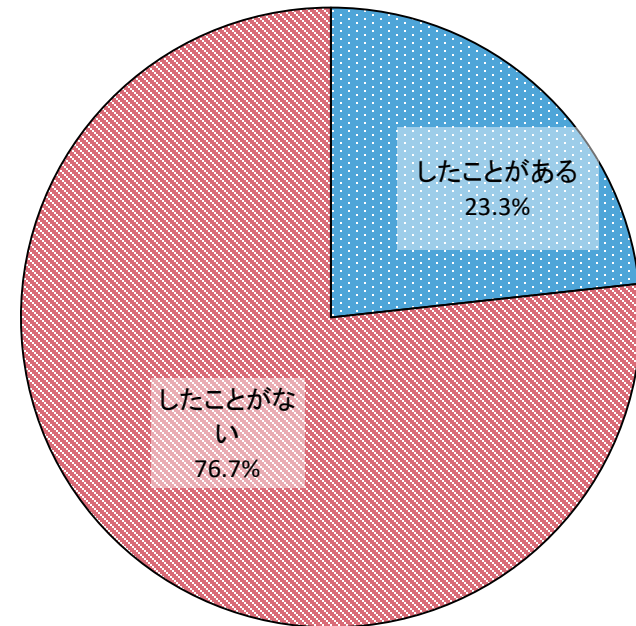
【ボランティア活動経験の有無】

n = 3,707



【(参考)ボランティア活動経験の有無H27年度調査】

n = 1,659



※過去3年間について

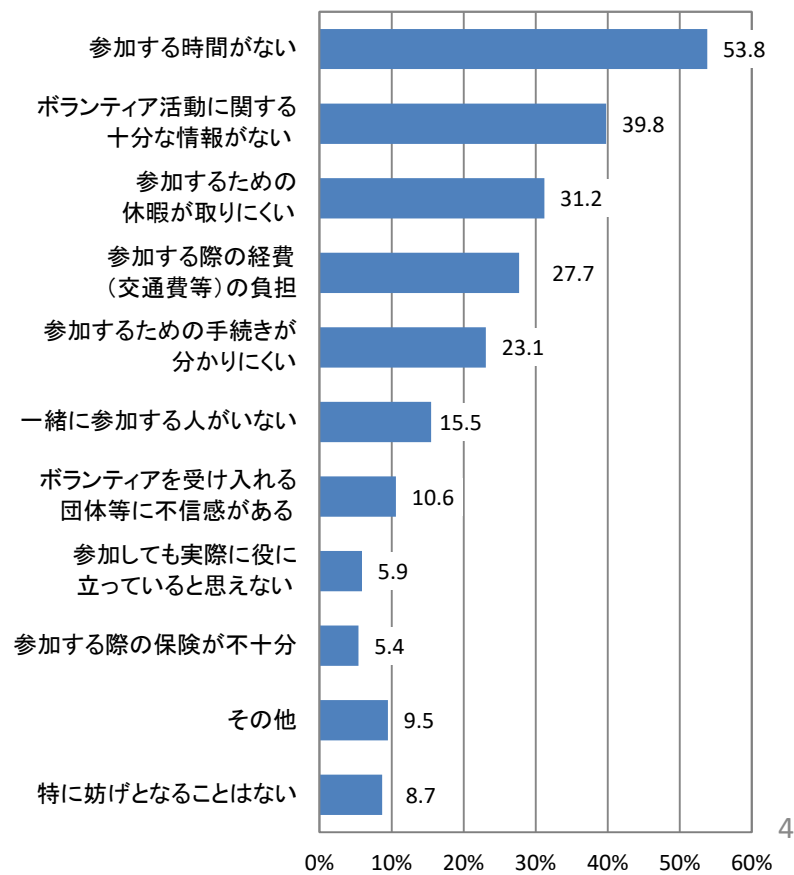
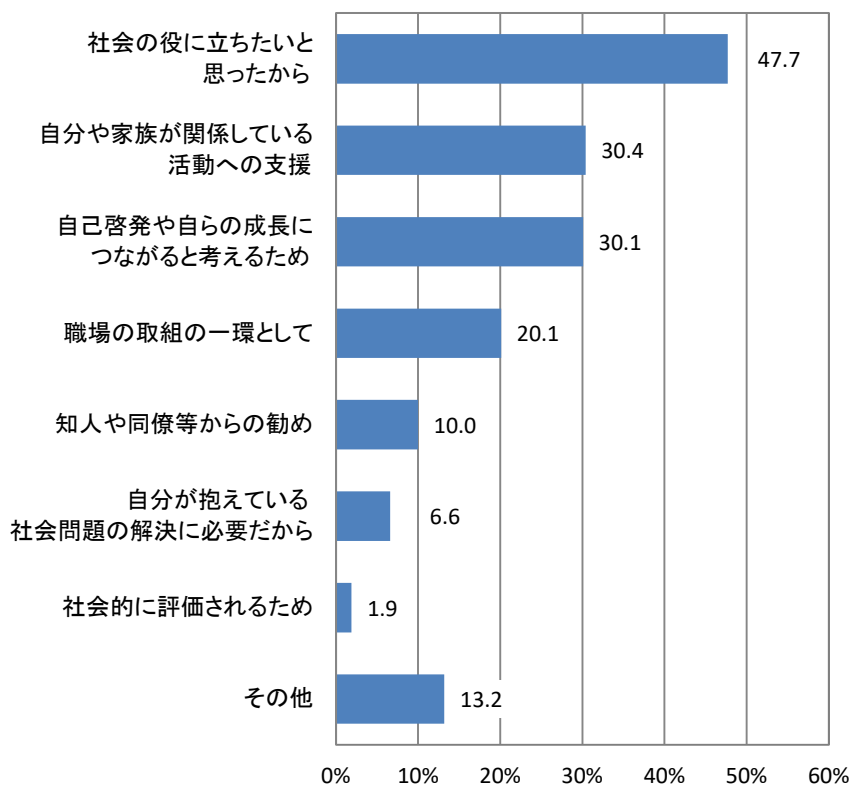
ボランティアについて②

- ボランティア参加者の参加理由は、「社会の役に立ちたいと思ったから」(47.7%)、「自分や家族が関係している活動への支援」(30.4%)、「活動を通じて自己啓発や自らの成長につながると考えるため」(30.1%)。
- 時間の不足がボランティア活動への参加の妨げとなっている。

【参加理由(複数回答)】 n = 622

【参加の妨げとなる要因(複数回答)】 n = 3,693

※対象:平成27年に「ボランティア活動をしたことがある」と回答した人

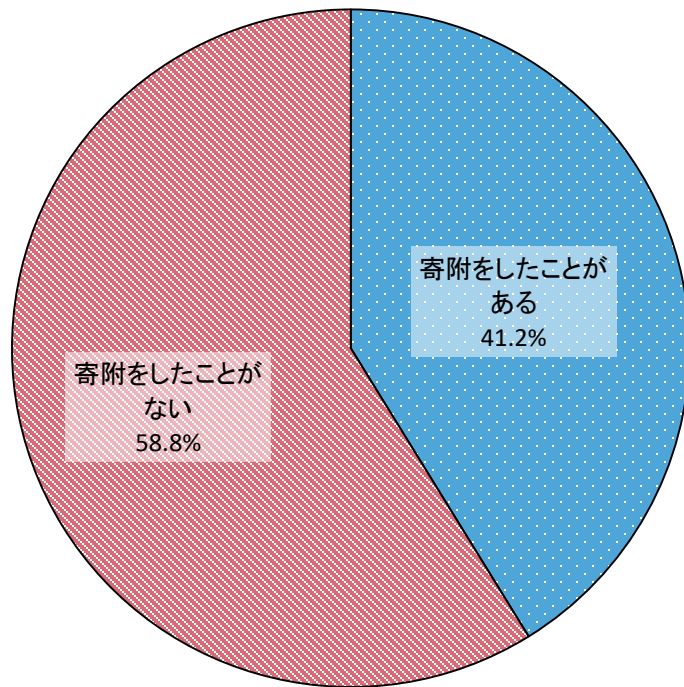


寄附について①

- 平成27年1年間の寄附経験の有無についてみると、「寄附をしたことがある」(41.2%)と「寄附をしたことがない」(58.8%)となっている。

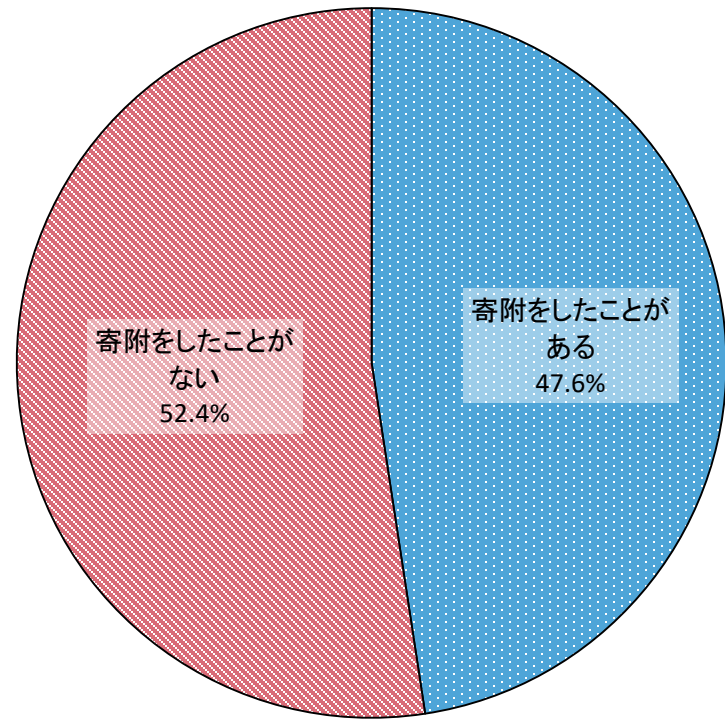
【寄附経験の有無】

n = 3,708



【(参考)寄附経験の有無H27年度調査】

n = 1,658



※過去3年間について

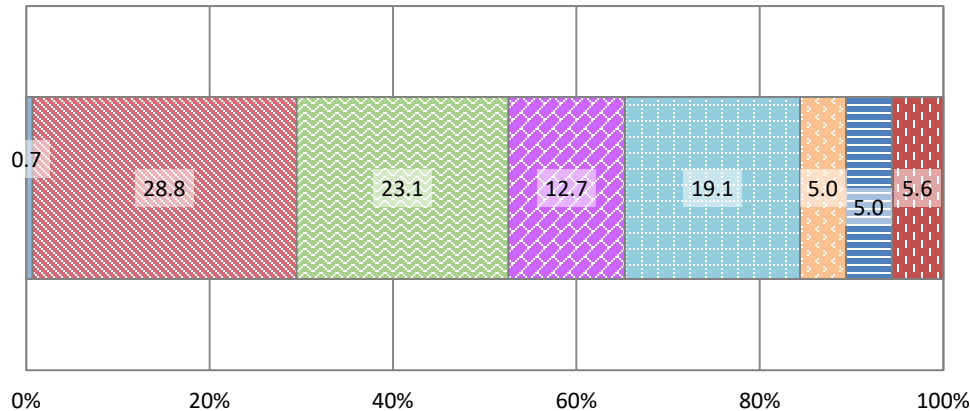
寄附について②

- 寄附経験者の年間寄附金額(世帯)をみると2,000円未満が約3割を占める。
- 寄附経験者の過半数の寄附回数は2回以下となっている。

【年間寄附金額(世帯)】

n = 962

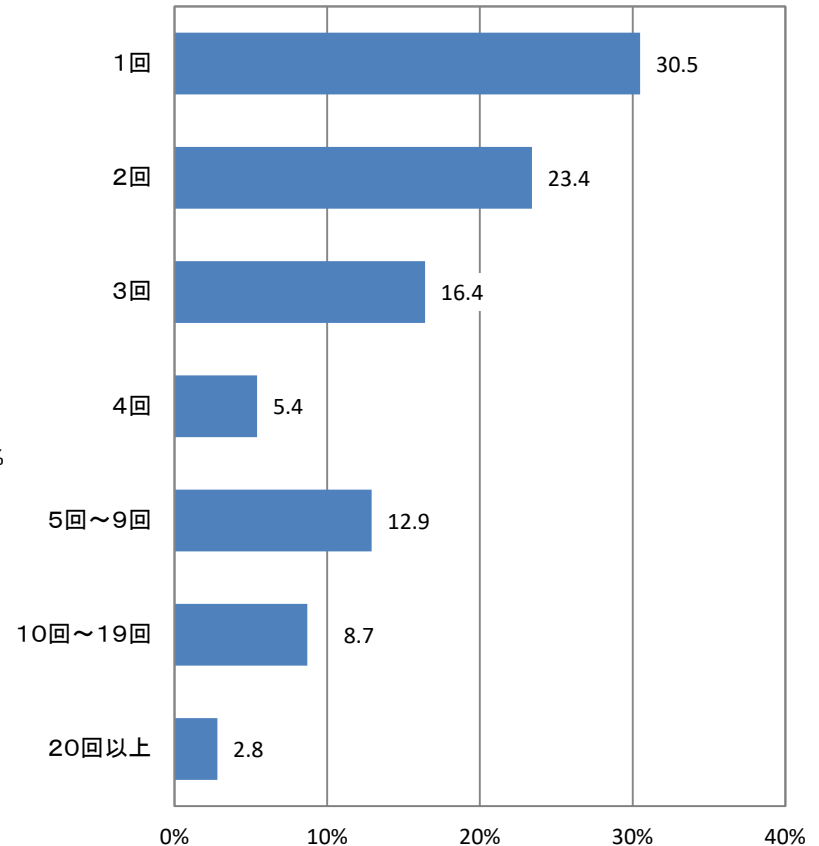
※対象:平成27年に「寄附をしたことがある」と回答した人



【年間寄附回数】

n = 1,276

※対象:平成27年に「寄附をしたことがある」と回答した人



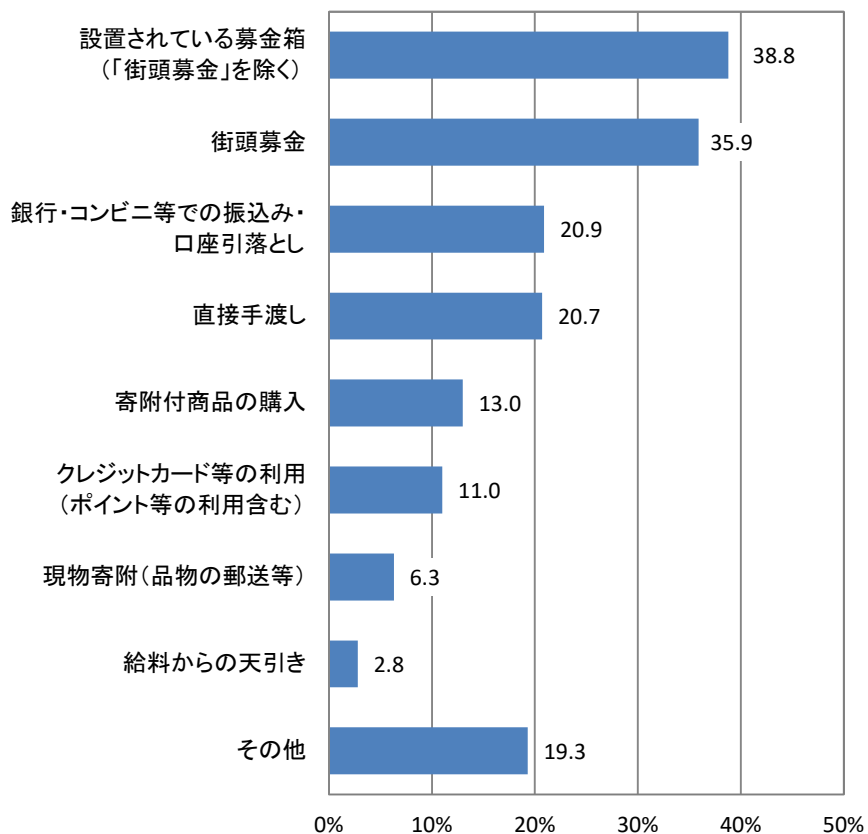
寄附について③

- 寄附の方法は、設置されている募金箱、街頭募金が多い。
- 寄附先は「共同募金会(赤い羽根)」が38.4%で最も多い。

【寄附方法(複数回答)】

※対象:平成27年に「寄附をしたことがある」と回答した人

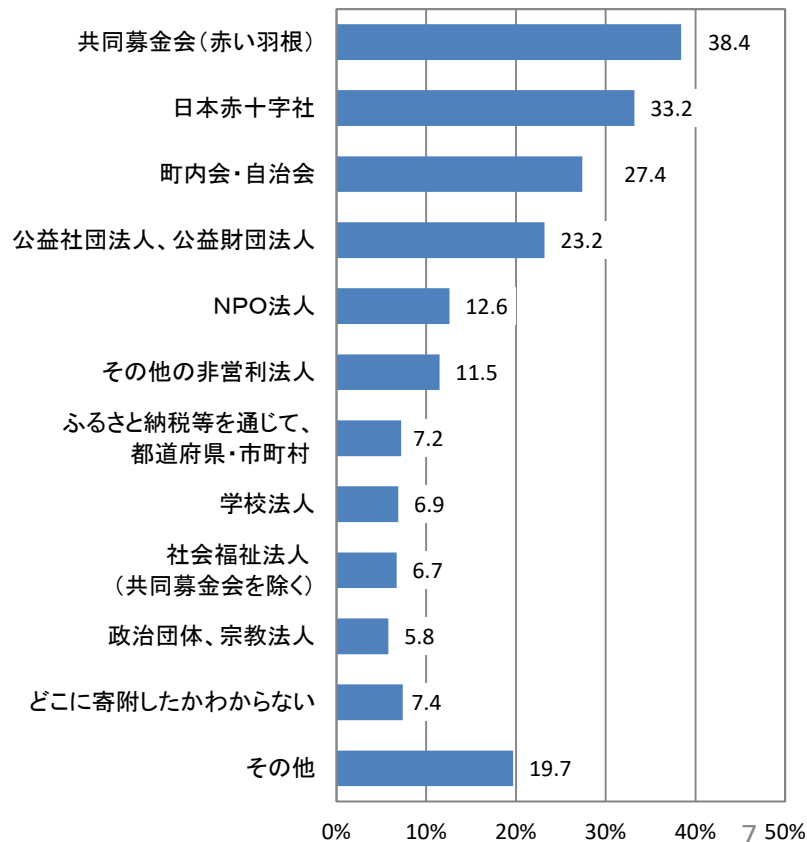
n = 1,505



【寄附をした相手(複数回答)】

※対象:平成27年に「寄附をしたことがある」と回答した人

n = 1,506



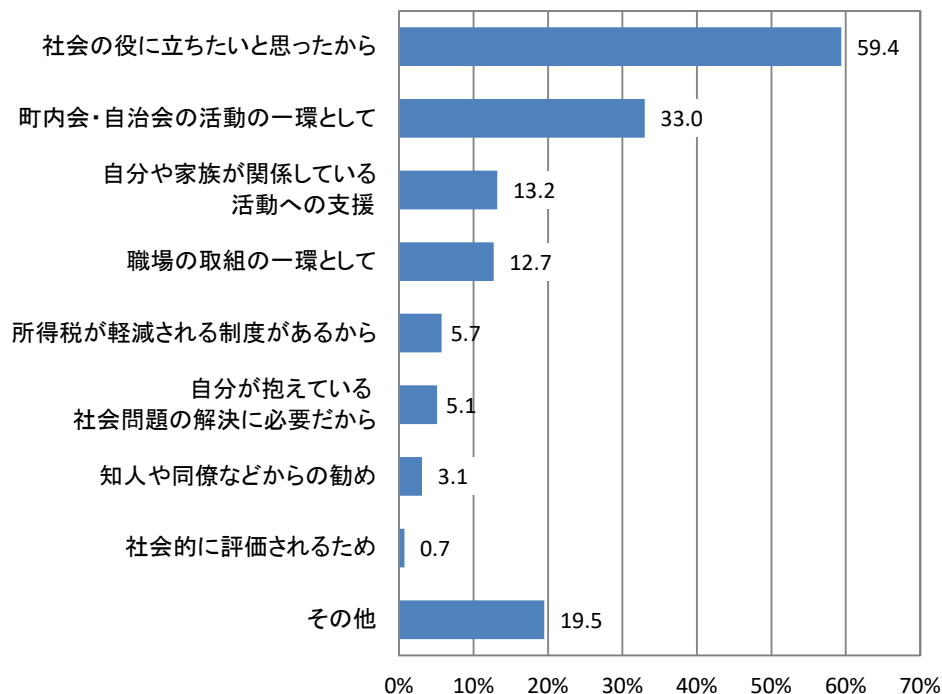
寄附について④

- 寄附を行った理由としては、「社会の役に立ちたいと思ったから」(59.4%)が最も高い。
- また、「町内会・自治会の活動の一環として」、「自分や家族が関係している活動への支援」、「職場の取組の一環として」など、身近なところからの依頼によって寄附を行っていることもうかがえる。
- 寄附をした分野は、「災害救助支援」(53.7%)が最も高く、以下「保健・医療・福祉」、「子ども・青少年育成」の順となっている。

【寄附理由(複数回答)】

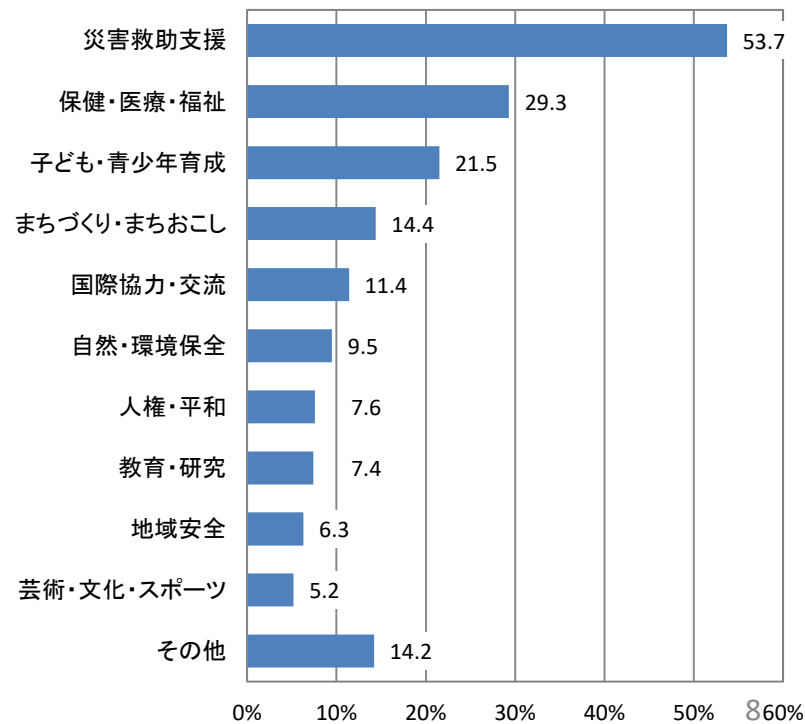
※対象:平成27年に「寄附をしたことがある」と回答した人

n = 1,501



【寄附をした分野】

n = 1,495



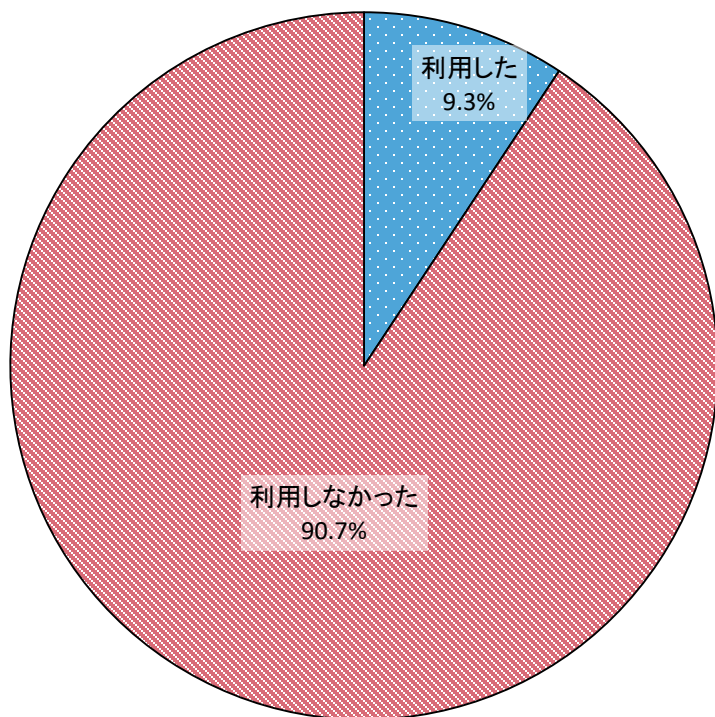
寄附について⑤

- 平成27年の寄附金控除制度利用の有無についてみると、「利用した」と回答したのは、9.3%となっている。
- また、「利用しなかった」と回答した者が、利用しなかった一番の理由は「寄附金控除制度について知らなかったから」(45.6%)が最も高い。

【寄附金控除制度利用の有無】

n = 1,503

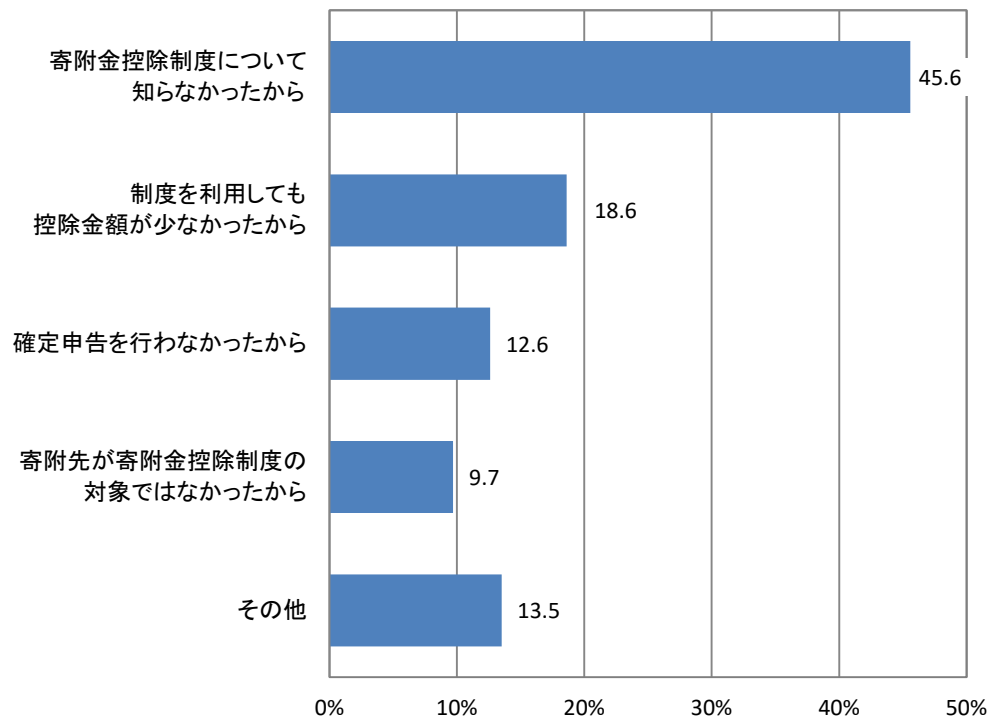
※対象：平成27年に「寄附をしたことがある」と回答した人



【寄附金控除制度を利用しなかった一番の理由】

n = 1,332

※対象：平成27年に寄附金控除制度を「利用しなかった」と回答した人

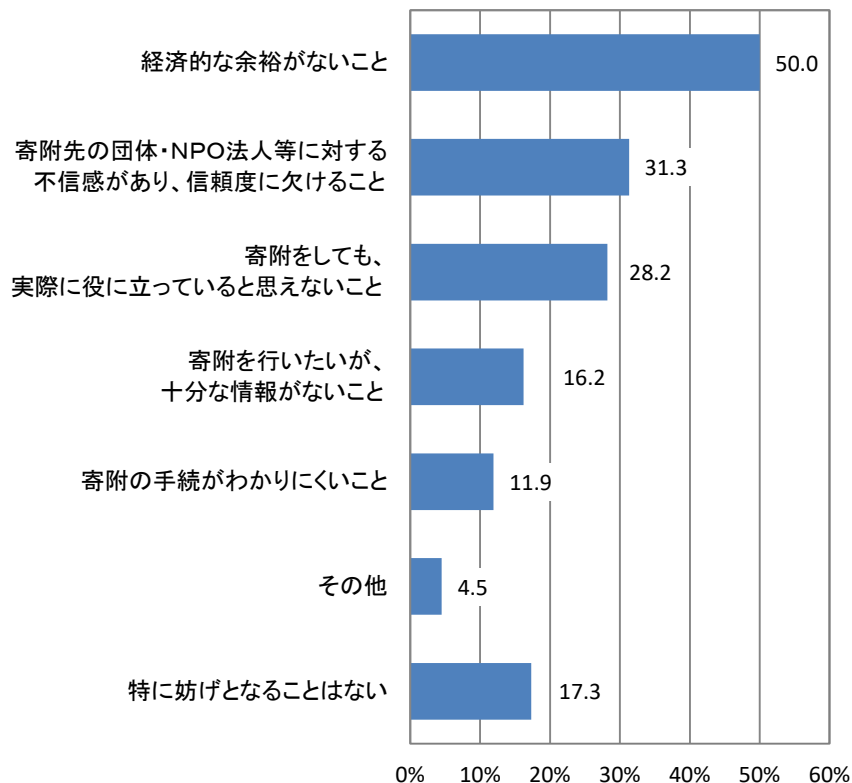


寄附について⑥

- 経済的な理由や寄附先団体・NPO等への不信感が寄附の妨げとなっている。
- 寄附するときに必要なと考える情報は、「寄附先の活動内容」が最も多く、次いで「寄附により期待される効果」となっている。

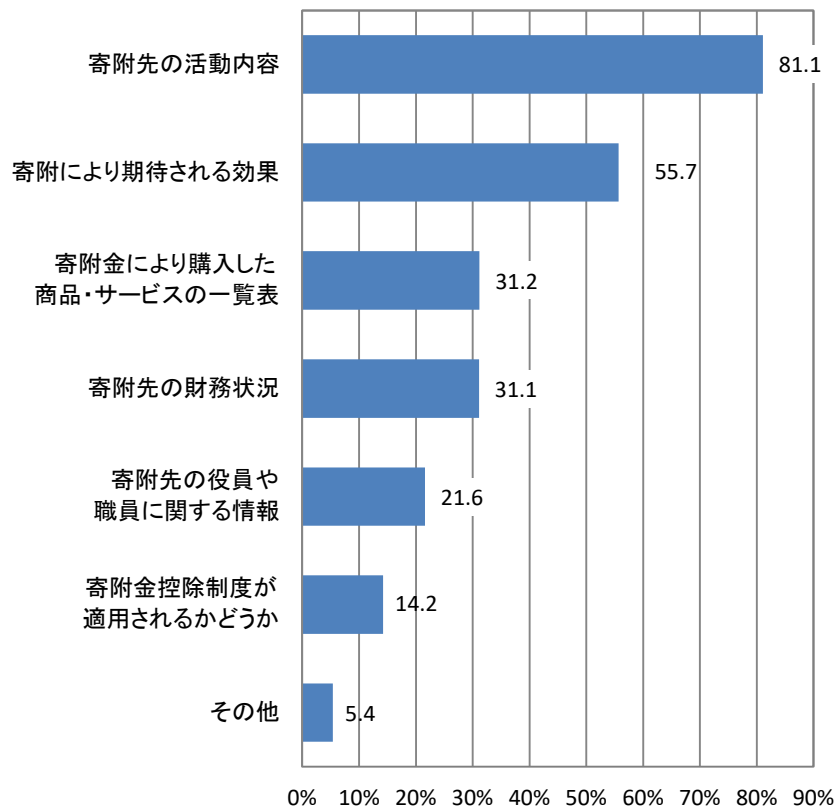
【寄附の妨げとなる要因(複数回答)】

n = 3,694



【寄附時に必要と考える情報(複数回答)】

n = 3,674

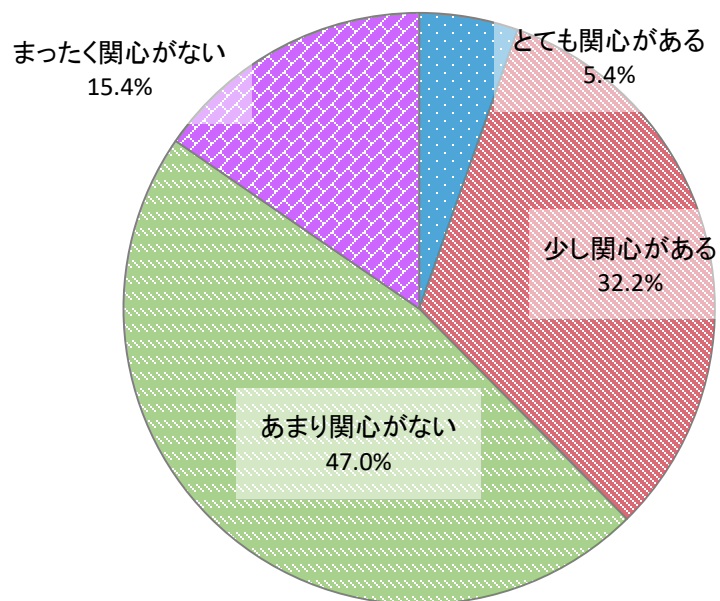


NPO法人・公益法人について

- NPO法人に対して、「とても関心がある」(5.4%)、「少し関心がある」(32.2%)を合わせた、関心を持っている層は37.6%。
- 公益法人に対して、「とても関心がある」(3.6%)、「少し関心がある」(23.3%)を合わせた、関心を持っている層は26.9%。

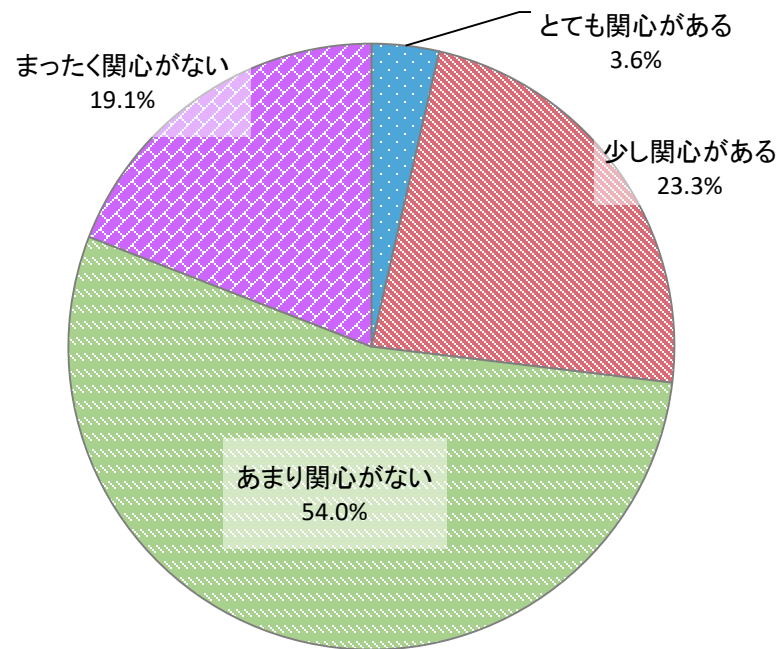
【NPO法人に対する関心】

n = 3,717



【公益法人に対する関心】

n = 3,716



※昨年度調査では、NPO法人に関心がある人は40.6%。